

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-2 県立病院における良質な医療提供
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	病院局県立病院課長 杉原雅行	電話番号	0853-22-5111
----------	----------------	------	--------------

事務事業の名称	こころの医療センターによる児童思春期医療の実施		
目的	(1) 対象	児童思春期における専門的精神医療が必要な人	
	(2) 意図	適切な医療を受けている	
事業概要	児童思春期において医療を必要とする方に、専門の外來部門を設置するなど受診しやすい環境のもとで、適切な医療を提供する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	児童思春期外來新規受診者数	目標値	145.0	145.0	145.0	145.0	人
	式・定義	児童思春期外來新規受診者数	取組目標値					
			実績値	116.0				
			達成率	—	—	—	—	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	—	—	—	—	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)		
うち一般財源(千円)		

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

こころの医療センターでは昭和44年の開院当初から児童・思春期の精神疾患治療に積極的に取り組んでおり、児童思春期外來や専用病棟の設置のほか、分校を併設するなどし、専門的な医療を提供している。外來については患者数が増加し、診療体制の維持が課題となっていたが、平成24年度から開始された県の「子どもの心の診療ネットワーク事業」により各圏域での相談体制が整いつつあることから、近年の当院の新規受診者は安定的に推移している。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

従来、こころの医療センターに患者が集中し診療体制の維持が課題となっていたが、平成24年度から開始された県の「子どもの心の診療ネットワーク事業」により各圏域での相談体制が整いつつある。
これにより、こころの医療センターは専門的な治療を必要とする患者を対象により適切な治療を提供できるようになってきていると考えている。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
引き続き専門的医療提供体制を維持していくため、専門知識を持った医療従事者の確保が重要である。
- ②困っている状況が発生している「原因」
医療従事者の確保が全国的に困難な状況が続いている。
- ③原因を解消するための「課題」
精神科医をはじめとする医療従事者の安定的な確保と児童思春期の精神医療に精通した職員の養成

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

関係大学や(一社)しまね地域医療支援センターとの一層の連携を図り、医師の確保・育成に努めるとともに、専門医の資格取得支援や学会への積極的派遣等により、職員の資質向上に努め、より専門的で高度な医療の提供を目指す。
子どもの心の診療ネットワーク拠点病院として各圏域の関係機関のネットワーク形成を支援し、適切な機関で適切な援助を受けられることを目指す。

9. 追加評価(任意記載)